



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2025 年 9 月

募集要項

品質経営研修コース

The Program for Quality Management

[PQM]

2026 年 2 月 12 日～2 月 25 日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2023 年度（令和 5 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 240,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

品質経営研修コース（PQM）は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が実施する管理研修コースです。本コースは、全開発途上国を対象として、TQM（Total Quality Management, 総合的品質管理）として、日本企業に特徴的な経営・管理手法やその根底にある考え方を学ぶために設計された管理研修コースの一つで、主に上級管理者を対象に、品質経営を実践する能力を向上させることを目的としています。

2. 対象国：

下記 URL より対象国・地域一覧をご確認ください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

3. 参加者の人数：

15 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 製品・サービスの品質向上に責任を持つ上級管理者
* 中級管理者でも、TQM を実施するにあたり要となる立場にいるか、将来の役割を期待されている場合は対象となります。
 - (2) 原則として、年齢が 20 歳以上で品質管理・品質経営の分野で 1 年以上の実務経験を有する方。年齢は 30 歳以上 50 歳以下が望ましい。
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (5) 心身健康な方
 - (6) 開発途上国または地域に居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- * 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族や会社の同僚・部下等を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を **2025 年 11 月 18 日（火）** までに、AOTS 企業連携第 1 グループ／第 2 グループ（12. お問い合わせご参照）までご提出ください。
 1. 研修申込書（概要）
 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書
 3. 事前研修レポート
- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。
 ※ご不明点等ありましたら企業連携第 1 グループ／第 2 グループにお問い合わせください。（12. お問い合わせご参照）
 ※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。
 【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、**2025 年 11 月 18 日（火）** までに AOTS 海外協力第 1 グループに到着するように提出してください。

応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外協力第 1 グループ（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
 ※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出
- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル
- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF
- (4) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF
- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF
- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF
- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF
- (8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF
- (9) パスポートコピー ※PDF
 ※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。
- (10) 事前チャレンジレポート ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※AOTS 所定様式については AOTS 海外協力第 1 グループ（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

提出された応募書類は、**2025 年 12 月 18 日（木）** の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で 15 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースは、製品の品質やサービスを向上させて顧客満足度を高めることを目指す TQM（Total Quality Management, 総合的品質管理）に関して、その概念と手法、さらに推進方法をマスターすることによって、参加者が自組織内で TQM を実践、推進できる能力の向上を図ります。

■ 期待される効果

- (1) TQM 活動の枠組み(歴史的背景を含めて)についての理解
- (2) 品質と管理についての基本理論の理解
- (3) 方針管理、日常管理、QC サークル、品質保証、品質改善を含む TQM 活動の主要な要素についての知識と推進方法の理解
- (4) TQM 実践成功企業の主要な成功要因の理解
- (5) TQM 推進における管理者の役割と責任への新たな洞察

■ 期間

2026年2月12日（木）～2月25日（水）（14日間）

■ 内容

このカリキュラムでは、次のステップに従って、TQM を推進する能力を効果的に強化します。

【ステップ 1】

日本で育った TQM 活動の枠組み・特徴、TQM の文化的側面について概観します。

【ステップ 2】

TQM の主要な要素である方針管理と日常管理、品質保証などについて学びます。講義だけではなく、実際に日本企業の具体的事例を見学することで、TQM 導入から推進までの流れや、TQM の主要な要素をどのように現場で実践するかを理解を深めます。

【ステップ 3】

TQM 推進における管理者のリーダーシップについて学び、TQM の人間的側面について話し合います。コースのまとめとして、帰国後のアクションプランと自分自身の役割について発表します。

ステップ 1～3 と並行して、参加者はコース開始前に提出するチャレンジレポートに基づき参加者同士でグループ・ディスカッションを行い、講師から助言を受けます。グループ・ディスカッション後、参加者は講義や企業訪問等を通じて学んだ TQM の導入と推進に関する管理手法や取り組み事例を参考にチャレンジレポートを修正し、自社に適応するアクションプランを作成します。参加者は可能な限り実践的で、具体的かつ詳細な計画を立案し、コース最終日に発表します。

注：行動計画草案をより効果的で現実的なものとするため、自社の品質管理あるいは品質保証上の問題に関する具体的な情報とその説明のためのデータ等の資料をお持ちください。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕方にグループ討論が行われます。
日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ エグゼクティブコースディレクター

安藤 之裕 氏

TQM コンサルタント

(一財)日本科学技術連盟 国際事業参与

デミング賞委員会 主査委員

国際品質アカデミー (IAQ) Academician, President-Elect

QC サークル 埼玉地区 名誉世話人

TQM コンサルタントとして、製造業からサービス産業まで広範な業種にわたり、国内外の多数の企業において活躍。このうち 25 社がデミング賞実施賞受賞。(財)日本科学技術連盟をはじめ各組織主催の品質管理セミナーの講師を務め、実践的で楽しく教える講師として定評がある。TQM 関連の著書（共著・監修）多数。1987 年及び 1997 年に日経品質管理文献賞を受賞。また、2010 年には（社）日本品質管理学会から品質管理推進功労賞を受賞。2010 年に出版した自著“Daily Management - The TQM way”は、国際品質アカデミー (IAQ) の 2011 年 Masing Medal を受賞した。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 東京研修センター(TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東 1 丁目 30-1

電話： 03-3888-8231（受付） ファックス： 03-3888-0763

品質経営研修コース[PQM]日程（案）

2026年2月12日～2月25日

AOTS 東京研修センター（予定）

月／日	午 前		午 後	夕方
2月11日 (水)	(来日)			
2月12日 (木)	オリエンテーション／開講式 講義：TQM 概論		講義：改善論／問題解決	討論： グループ討論ガイダンス グループ討論（1）
13日 (金)	講義：管理論		講義：日常管理	討論： グループ討論（2）
14日 (土)	講義：品質理論		講義：QC サークル活動	討論： グループ討論（3）
15日 (日)	休日			
16日 (月)	講義：方針管理		(見学地へ移動)	
17日 (火)	(企業等 遠隔地) 見学	見学：TQM 推進体制と QC サークル活動	見学：TQM 推進事例(1)	
18日 (水)		見学：日本の製造業を支える考え方	見学：品質保証のシステム	
19日 (木)	講義：新商品開発管理		講義：人事管理・人材育成	
20日 (金)	見学：TQM 推進事例(2)			
21日 (土)	休日			
22日 (日)	休日			
23日 (月)	講義：TQM の進め方		講義：TQM の進め方 最終発表会指導	
24日 (火)	最終発表会レポート作成		経営者特別講演	
25日 (水)	最終発表会 -個人発表-		最終発表会 -模範発表- 研修総括	修了式
26日 (木)	(帰国)			

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
 (2) 夕方にグループ討論を行うことがあります。

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日前日に日本に到着し、研修終了日翌日に日本を出発することとします。

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 2/11 来日・終了日翌日 2/26 帰国 14 日コース
成田国際空港・東京研修センター間移動の場合です。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合 受入費補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	206,790	[2/3] 137,860	[1/3] 68,930
2. 研修実施費	550,000	344,000	206,000
合計	<u>756,790</u>	<u>481,860</u>	<u>274,930</u>

【試算例 2】大企業（一般分野）の場合 受入費補助率 1/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	206,790	[1/3] 68,930	[2/3] 137,860
2. 研修実施費	550,000	294,000	256,000
合計	<u>756,790</u>	<u>362,930</u>	<u>393,860</u>

【試算例 3】大企業（重点分野）の場合 受入費補助率 1/2

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	206,790	[1/2] 103,395	[1/2] 103,395
2. 研修実施費	550,000	319,000	231,000
合計	<u>756,790</u>	<u>422,395</u>	<u>334,395</u>

【試算例 4】中堅・中小企業アフリカ受入の場合 受入費補助率 3/3（100%）

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	536,740	[3/3] 536,740	[0] 0
2. 研修実施費	550,000	394,000	156,000
合計	<u>1,086,740</u>	<u>930,740</u>	<u>156,000</u>

【試算例 5】大企業アフリカ受入の場合 受入費補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	536,740	[2/3] 357,826	[1/3] 178,914
2. 研修実施費	550,000	344,000	206,000
合計	<u>1,086,740</u>	<u>701,826</u>	<u>384,914</u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（成田国際空港・東京研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費はアフリカ受入以外補助対象外となります。上記試算例 4、5 のアフリカ受入の渡航費は海外からの申込の場合の 2025 年度上期（2025 年 9 月まで）のエジプトの航空券補助上限額（329,950 円）で試算しています。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS 企業連携第 2 グループ（12. お問い合わせ）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100% の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

※重点分野とは大企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で、実地研修の内容が開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの（新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等（サプライチェーンの多元化・強靱化に大きく寄与する案件を含む）に該当するものをいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舍費・食費	来日日のみ	10,600 円／泊
	来日日以外	11,600 円／泊
研修旅行時	宿舍費	14,500 円／泊
	食費	3,100 円／泊
雑費		1,000 円／泊

※管理研修終了後、実地研修を実施することができます。その場合、以下実地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 （実地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの）	大企業 3,360 円／日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円／日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証（VISA）の取得について：

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード（ABTC）」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し日本に到着した時から、日本を出発するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救済者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出

してください。

1 1. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長
連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ
電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

- (2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。
それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

1 2. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 企業連携第1グループ／第2グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

海外統括部 海外協力第1グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax: 03-3888-8242

E-mail: shouhei-au@aots.jp

CHALLENGE REPORT FOR APPLICATION

- The Program for Quality Management [PQM] -

Please fill in the following items **by using a personal computer or similar equipment** in English. **Handwriting should be avoided.**

This **CHALLENGE REPORT FOR APPLICATION** will be used as a reference material in the screening process of applicants.

Note: Applicants who pass the screening will be required to submit updated Challenge Report as **CHALLENGE REPORT FOR PRESENTATION** with more detailed information prior to your visit to Japan.

A. Profile of Your Business			
1. Your Name			
2. Country			
3-1. Name of Your Organization			
3-2. Year of Establishment		3-3. Number of Employees	
3-4. Annual Sales			
3-5. Your Products and/or Services (Including Major Customers or Markets, attach a photo of them if applicable.)			
4-1. Your Position			
4-2. Number of Subordinates under your authority			
4-3-1. Your Responsibility Area 4-3-2 KPI (if any)			

4-4. Organization Chart (Add ** to Highlight Your Position)**4-5. Production Process / Business Process / Work Flow
(Add ** to Highlight the Process that You Are Involved In)**

5. Present Managerial Activities for Quality Improvement in Your Organization if any

6. The Stage of TQM Promotion in Your Organization

Please Check (x) as Appropriate.

The Stage of TQM Promotion

1. Planning to Introduce TQM

2. Under Preparation to Introduce TQM

3. Within 2 Years After the Introduction of TQM

4. More than 2 Years After the Introduction of TQM

5. Before Planning of the Introduction of TQM, or No Plan

If you check 1, 2, 3 or 4, please answer the following question:

What is the particular objective of the adoption of TQM?

B. Your Biggest Current “Challenge”* in Your Quality Management Activities	
*“Challenge” means a problem that needs to be solved or task that needs to be achieved within 1-2 years from now.	
Type of the Challenge (Select ONE from (A) to (H))	
Problem that needs to be solved: (A) Too many complaints from customers (B) Too high rates of rejections, reworks, mistakes in the process (C) Too big variations and/or instability of process parameters or key performance indicators (length, weight, PH, dB, etc.) (D) Too low success rate of new product/technology development	
Task that needs to be achieved: (E) New business and/or market development (F) Accelerated business expansion (G) Introduction and/or enhancement of QC Circle activities (H) Uncategorized	
Theme of the Challenge (1-2 lines)	
Brief Description of the Challenge (5-10 lines)	